

作文を審査して

鹿沼市立みどりが丘小学校長 大橋 久美子

総数 20 点の応募作品は、それぞれの学年に合った思いや考えが鮮明に表現されていました。作文の審査にあたっては、自然保護、森林愛護、緑化の必要性とその普及といったコンクールの趣旨を踏まえ、主題の明確さや題材の豊かさ、構成・表現の工夫などの観点から行いました。

審査した小・中学生の作品は、緑や森林についての身近な体験がきっかけとなったり、学校で学習して得た知識や情報にもとづいて考えたりして身についた意見がほとんどでした。いずれも森林の大切さについてよく理解し、自分のできることから前向きに取り組んでいこうとする意欲が強く感じられる作品でした。また、入賞した作品は、全体的に構成が整っており、書き出しや結びなどの表現がよく工夫されているとともに、考えや意見が明確で説得力のある内容でした。

コンクールの審査に携わり、鹿沼市の小・中学生が緑化や森林愛護に関心をもって進んで行動しようとしていることがよく伝わってきました。今後も、作文にまとめることで、日頃の学びや体験、漠然とした思いを整理し、これからすべきことは何かを見出して欲しいと思います。そして、これからも鹿沼市の森林が大切にされ、緑豊かなまちになっていくことを期待しています。

